

## 論文審査の要旨

筆頭著者（学位申請者）氏名

鈴木 規雄

主論文の題目  
および  
掲載・審査委員名

題目 Assessment of Transthyretin Combined with Mini Nutritional Assessment on Admission Provides Useful Prognostic Information in Patient with Acute Decompensated Heart Failure. (急性心不全患者におけるトランスサイレチンと Mini Nutritional Assessment の組み合わせによる評価は有用な予後予測因子である)

掲載誌 International Heart Journal 2015:56 (in press)

主査 大坪 毅人

副査 信岡 祐彦

副査 松本 直樹

### [論文の要旨・価値]

心不全患者は低栄養状態にあることは知られているが、鬱血等の影響をうけるためこれまで単独指標による低栄養のスクリーニングは困難であるとされてきた。申請者らは、簡易栄養状態評価表である Mini Nutritional Assessment (MNA) と動的な栄養状態の指標として用いられる血中 Transthyretin (TTR) を用いて、急性心不全患者の予後について検討した。対象として心不全患者 52 名に対し入院後 48 時間以内に MNA score、TTR を測定した。その結果にもとづき MNA<24 (低栄養リスクありまたは低栄養)かつ TTR<15 を Group L、それ以外を Group 0 とした。全死亡もしくは心不全増悪による再入院をイベントと定義した。結果としてイベントは 30.8% (n=16) に認められ、全死亡は 4 例 (心臓イベント死は 1 例) であった。MNA<25 の症例は 39 例 (75%) であった。1 年後の無イベント生存率は Group L : 27.7%、Group 0 : 85.6% (P=0.001)、多変量解析の結果 Group L が独立した予後予測因子であった。本論文は、これ迄評価が困難であるとされてきた心不全患者の栄養状態について、MNA score および TTR 値の測定により臨床的に特に重要と考えられる全死亡、心不全増悪による再入院という予後予測の評価が可能であることを証明した貴重な論文であるといえる。

### [審査概要]

学位審査は教育棟 5 階セミナー室において主査、副査の他、指導教授の陪席のもと行われた。まず、申請者による約 20 分間のプレゼンテーションが行われた。プレゼンテーションは理解し易いもので、簡潔にまとめられていた。その後本研究の方法、結果とその解析、平常状態と比較して心不全のみならず慢性炎症状態に置ける蛋白合成の変化について、さらには今後の展望に関する質問に対し、いずれの質問に対しても礼儀正しく、真摯な態度で概ね良好に返答していた。

## 最終試験結果の要旨

### [研究能力・専門的学識・外国語（英語）試験等の評価]

学位審査を通して、申請者は専門領域の知識、背景および関連領域の知識、ならびに本研究を実施するうえでの研究上の十分な知識を有すると判断した。

英語の読解力については引用論文一部を指定し、その場での abstract の英読、和訳を命じ、その結果十分な英語読解力があると判断した。

以上より、鈴木規雄君は学位授与に値する人物であると判断した。